インドネシア：ルピア下落で政策金利を0.25%引き上げ
通貨ルピアの安定強化に重点

インドネシア中央銀行（BI）は11月18日、政策金利を0.25%引き上げ、6.00%に決定しました。2026年7月以降4カ月連続で政策金利を据え置いていましたが、5ヵ月ぶりの利上げを実施しました。政策決定会合まで、通貨ルピアが下落していただけに、BIとして通貨の防衛を強く意識した決定となりました。BIの動向、市場の反応および今後の見通しについて解説いたします。

➢ ルピアの安定強化へ強い意志

金融政策の概要：

- BIは11月18日に終了した金融政策決定会合で、政策金利である7日物リバースレポ金利を0.25%引き上げ6.00%にしました。これは2025年1月以来の高い水準です。預金ファシリティ金利は5.25%、貸出ファシリティ金利は6.75%に、それぞれ0.25%引き上げました。事前予想では据え置きという見方もあったため、利上げはややサプライズと受け止められました。
- BIは、中東情勢の緊迫化や、欧州では政治的不安定さが広がり、原油価格をはじめとする国際的な商品価格が高止まっていることに加え、米国では一段の利上げが検討されていると言及しました。その結果、新興国通貨に対して米ドルが強含んでいることを懸念しています。インドネシア経済が堅調を維持する中で、通貨ルピアを防衛するため、あらゆることを実行すると強調しています。

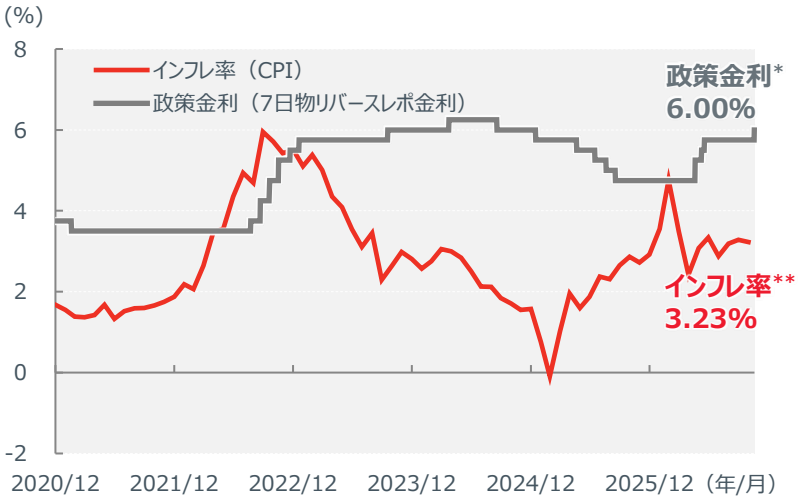
インフレ動向：

- 2026年10月のインフレ率は前年同月比+3.23%と前月の+3.28%から低下しました。これは、BIが一貫した政策を通じてインフレを抑制してきた成果と強調しました。BIは引き続きルピアの為替レートを安定させ、2026年および2027年のインフレ率を2.5±1%の目標範囲内に維持するための金融政策を強化するとしています。

経済成長見通し：

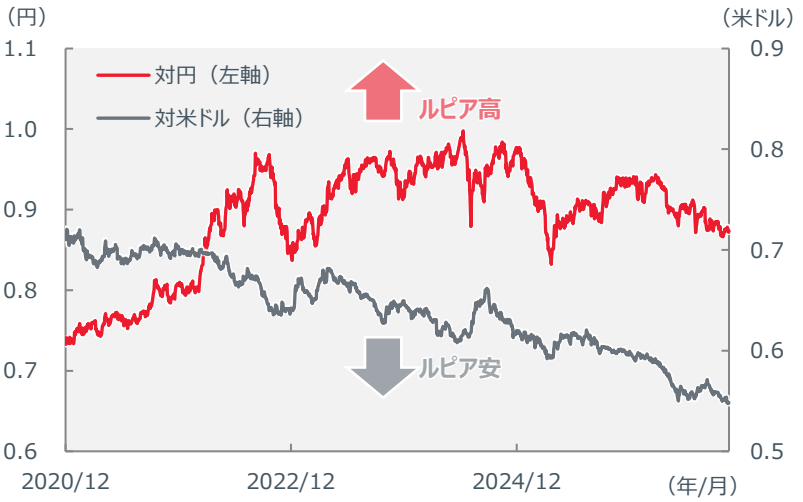
- 2026年第3四半期の実質GDP成長率が前年同期比5.47%と、前四半期の5.29%から加速しました。BIは2026年の実質GDP成長率について4.9～5.7%のレンジで推移するとの従来の見通しを据え置きました。

政策金利とインフレ率 政策金利*とインフレ率**の推移
（2020年12月31日～2026年11月18日、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
* 7日物リバースレポ金利。
** 消費者物価指数（CPI）上昇率。前年同月比。2026年10月まで。

為替 インドネシアルピア（対円、対米ドル）の推移
（2020年12月31日～2026年11月18日、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※ 対円は100ルピア、対米ドルは10,000ルピア当たりの推移。

○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

英国プルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるプルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

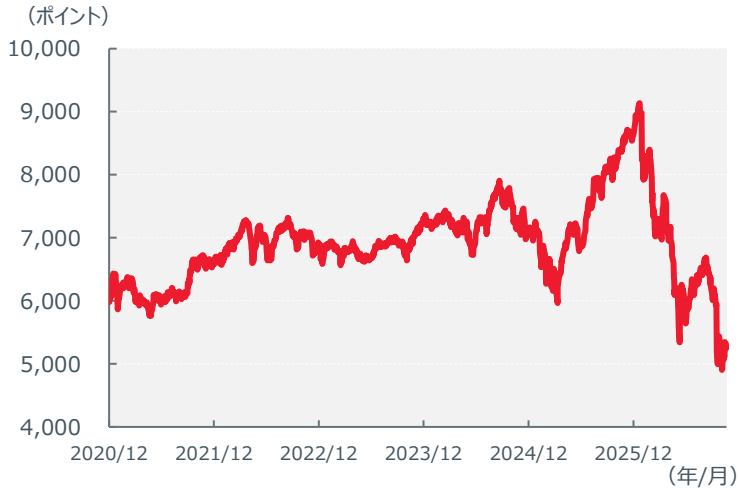
イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）　第379号／加入協会　一般社団法人資産運用業協会

261119(03)

➢ 市場の反応と今後の見通し

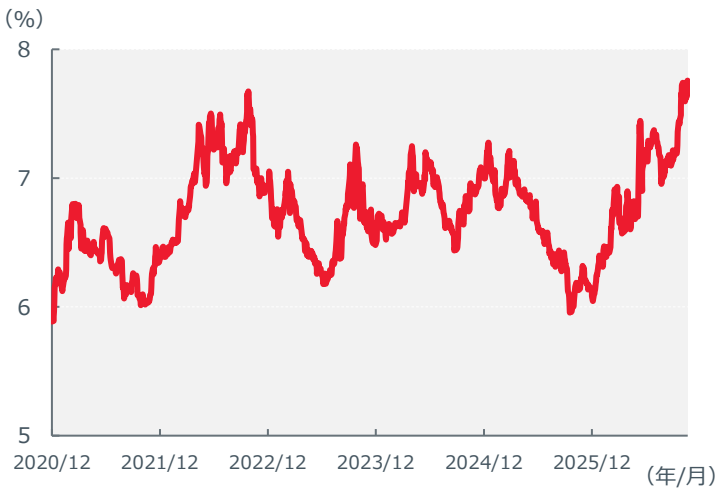
- 政策金利の引き上げ発表後、ルピアは対米ドルで前日比0.14%、対円で0.24%上昇しました。インドネシア株式市場（ジャカルタ総合指数）は前日比1.07%下落、債券市場では10年国債利回りは前日比＋4.7bps（0.047%）となりました。
- 当社では、今回の利上げについては、インドネシアルピアの安定化策を強化するとともに、インフレ率を2027年の目標レンジ内に予防的に抑制することを目的としているとみています。加えて、12月の米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げリスクを見据えた予防的な対応という側面もあると考えています。
- 今回の利上げは、BIの政策運営に対する信認を高め、インフレと通貨の安定を引き続き重要課題としていると考えています。外国投資家によるインドネシア国債のポジションが依然として限定的な中、インドネシアルピアの安定性が高まり、政策運営への信頼が強まれば、中長期的にはインドネシア国債を取り巻く投資環境の改善につながると考えられます。ただし、米国金利や米ドルを巡る外部環境には、引き続き注意が必要です。

株式 **ジャカルタ総合指数の推移**
（2020年12月30日～2026年11月18日、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

債券 **インドネシア10年国債利回りの推移**
（2020年12月30日～2026年11月18日、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞
○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。○当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。